



冬季特有の労働災害を防止しよう！ STOP労働災害

平成30年 業種別労働災害発生状況

平成31年1月末現在（未確定）

旭川労働基準監督署

区分 業種別	平成30年1月～12月			平成29年1月～12月			対前年		業種割合 (%)	平成29年確定			
	死亡	休業4日以上	合計	死亡	休業4日以上	合計	増減数	増減率		死亡	休業4日以上	合計	
全産業計	(1) 3	543	546	(3) 12	472	484	62	12.8	100.0	(3) 13	485	498	
除く鉱業計	(1) 3	543	546	(3) 12	472	484	62	12.8	100.0	(3) 13	485	498	
製造業		96	96	2	94	96		±0	17.6	2	94	96	
内 訳	食料品		39		46	46	-7	-15.2	7.1		46	46	
	木材木製品		12		12	12		±0	2.2		12	12	
	家具装備品		6		8	8	-2	-25.0	1.1		8	8	
	紙・パルプ		5				5		0.9				
	窯業・土石		5		5	5		±0	0.9		5	5	
	金属・機械		16	16	1	6	7	9	128.6	2.9	1	6	7
	その他		13	13	1	17	18	-5	-27.8	2.4	1	17	18
鉱業													
土石採取業		2	2				2		0.4				
建設業合計	2	98	100	(3) 5	56	61	39	63.9	18.3	(3) 5	58	63	
内 訳	土木工事業	2	37	39	(2) 3	24	27	12	44.4	7.1	(2) 3	25	28
	建築工事業		42	42		19	19	23	121.1	7.7		20	20
	木造建築業		8	8	1	9	10	-2	-20.0	1.5	1	9	10
	その他		11	11	(1) 1	4	5	6	120.0	2.0	(1) 1	4	5
道路貨物運送業		70	70		59	59	11	18.6	12.8	1	59	60	
その他の運輸業		13	13		15	15	-2	-13.3	2.4		17	17	
陸上貨物取扱業		1	1		4	4	-3	-75.0	0.2		4	4	
林業		6	6		8	8	-2	-25.0	1.1		8	8	
卸・小売業	(1) 1	84	85	1	62	63	22	34.9	15.6	1	63	64	
清掃業		29	29	1	25	26	3	11.5	5.3	1	25	26	
その他の事業		144	144	3	149	152	-8	-5.3	26.4	3	157	160	

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）を集計したものである。

死亡欄の（ ）内は、交通事故で内数です。

管轄は、旭川市、上川町、愛別町、比布町、当麻町、鷹栖町、東神楽町、東川町、美瑛町、幌加内町、富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の2市12町1村です。

平成30年 死亡労働災害発生状況

平成31年1月末現在(未確定)
旭川労働基準監督署

番号	発生月	曜日	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
1	1	金	15	小売業	交通事故 (道路)	乗用車	被災者は、社有車を運転し訪問先に向かうため道道を走行中、対向車の乗用車が対向車線をはみ出し、正面衝突した。現場は、片側1車線の緩い右カーブで事故当時、路面は凍結していた。
2	3	金	12	建設業	崩壊・倒壊	環境等	河川の災害復旧工事現場において、突然、上流側から大量の雪氷が一気に押し流されて来たため、被災者は雪氷に巻き込まれたもの。
3	7	金	9	建設業	崩壊・倒壊	地山	河川の護岸工事において、大型土のう(約1.4トン)で仮締切りした箇所にて、排水ポンプを設置する作業中、土のうの下の盛土部分が崩れ、土のうの上で作業を行っていた被災者が一緒に落ち、土のうとの間に挟まれたもの。